

新興国レポート

インドCPIが18カ月ぶりの水準に低下

2018年12月のCPIはRBIの物価目標値の下限近くまで低下

- ✓ 2018年12月のCPI（消費者物価）（前年同月比）は前月比0.14%低下の2.19%。18カ月ぶりの水準に低下。市場では金融緩和期待が高まる。
- ✓ 物価安定はRBI（インド準備銀行）の金融政策の自由度を高め、またモディ政権の支持層拡大につながる可能性もある。インド株式市場の回復が速まることも考えられる。

～ インドCPIは18カ月ぶりの水準まで低下 ～

- インドの2018年12月のCPI（前年同月比）は前月比0.14%低下の2.19%となりました。2017年6月（1.46%）以来18カ月ぶりの低水準で、RBIの物価目標値（2.0～6.0%）の下限近くまで低下しました（図表1）。

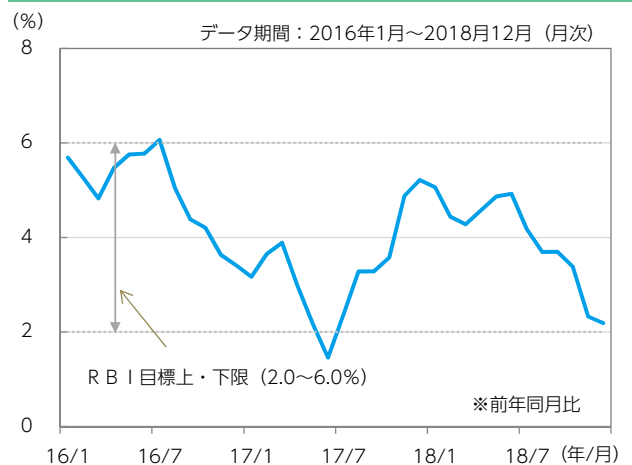
～ 食料・飲料費の低下がCPIを押し下げ ～

- 前月より低下幅は縮小したものの、CPI構成ウエイトの約46%を占める食料・飲料費や同約10%の住居費、約7%の燃料・光熱費の低下がCPIを押し下げています。食料・飲料費（前年同月比）は2017年12月の4.85%を直近ピークに低下を続け、2018年10月以降はマイナス圏の動きとなっています。モディ政権が2017年7月に導入したGST（財・サービス税）で、それまで州毎に異なっていた間接税の取扱いが整理・簡素化され、事務負担の軽減等により州をまたぐ食料等の輸送効率が改善したこと、農業の機械化が進み生産性が向上したこと等が要因になっているものと思われます。また、住居費や燃料・光熱費は原油価格下落による資材やガソリン価格の低下等が影響しているものと見られます（図表2）。

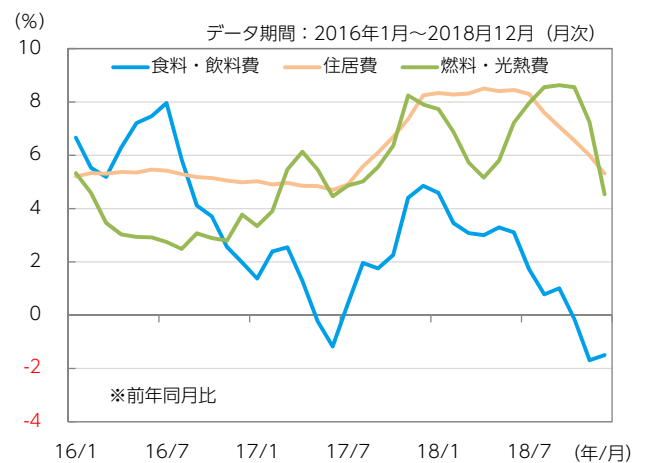
～ 金融緩和への期待高まる ～

- 12月CPIの低下を受け、市場では2月7日の金融政策決定会合で、RBIが政策スタンスを現状の引き締めから利下げを含む緩和方向に変更するとの期待が高まりました。15日のインド株式（SENSEX指数）はCPI発表前日（11日）比で0.9%上昇。また10年国債金利は一時約1年ぶりの水準まで低下しました（図表3）。
- 物価の安定はRBIの金融政策の自由度を広げ、またモディ政権の支持率上昇をもたらすことも考えられます。インドでは今年5月までに下院総選挙（定数545議席）が実施されます。5年前の前回選挙ではモディ首相率いるインド人民党（BJP）が圧勝し、単独過半数を握りました。今回の選挙ではBJPが苦戦するとの予想も一部ではあり、それが株式市場の重荷になっているようです。モディ政権に対する信任が高まり、総選挙に関する懸念が後退すれば、足元回復傾向にある株価はその勢いを増すものと思われます。

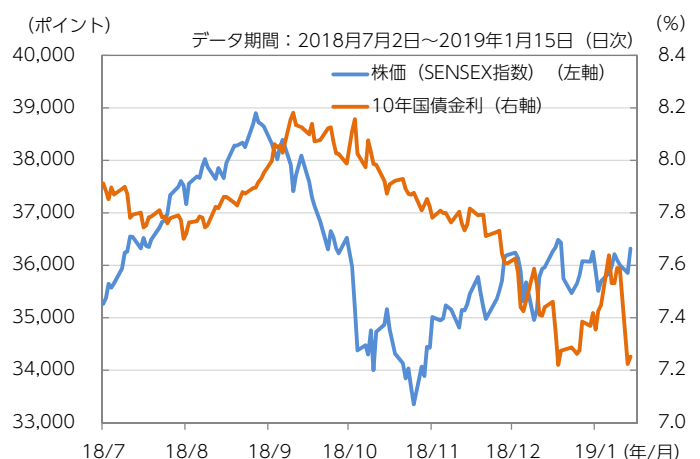
図表1：インドCPIとRBI目標値



図表2：低下が堅調な品目の物価動向



図表3：インド株式と10年国債金利



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>